

恵那未来キャンパス構想の実現

まちづくり企画部 SDGs推進室

令和8年2月27日



目 次

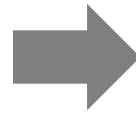
1. 事業の背景
2. 事業の概要
3. 令和7年度の取り組み
4. 主な成果・KPI達成状況
5. 今後の取り組み



1. 事業の背景

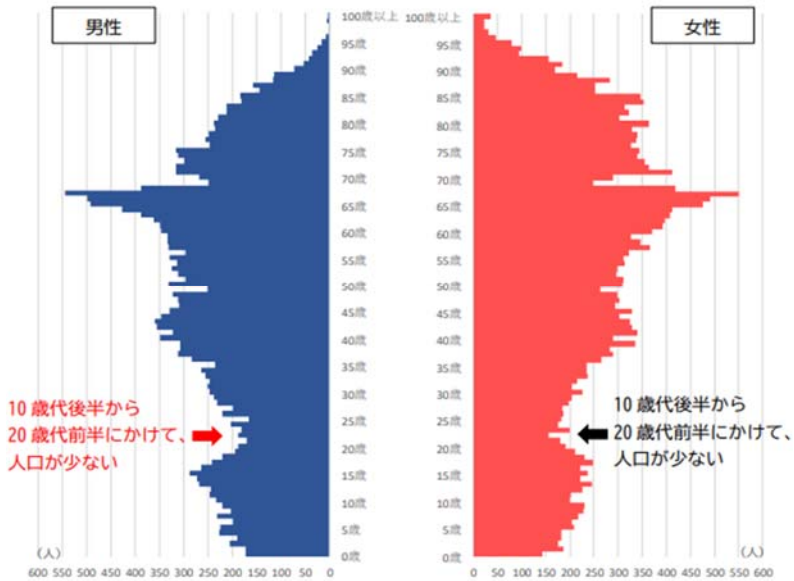
【課題】若い世代の流出

現状：
市内には大学がなく高校卒業のタイミングで市外に転出後、恵那市に戻ってくる若者が少ない。



課題：
若い世代の人口流出による地域社会の活力の低下や地場産業の人手不足

図表 恵那市の人口ピラミッド



資料：平成27年国勢調査 男女別・年齢別人口（外国人含む）

図表 「今後の居住意向」の属性別集計

設問概要	項目	全体	性別			年齢別			
			男性	女性	答えない	～29	30～49	50～69	70～
問2	N	1,576	774	772	18	135	370	605	328
今後の居住意向 [単数回答]	住み続けたい	67.8%	69.1%	67.4%	33.3%	40.0%	61.4%	71.2%	81.1%
	市内へ引っ越したい	5.0%	5.2%	4.8%	11.1%	4.4%	7.8%	4.6%	2.7%
	市外へ引っ越したい	9.0%	8.0%	10.0%	16.7%	21.5%	8.6%	8.6%	5.5%
	わからない	16.6%	16.3%	16.5%	38.9%	32.6%	21.4%	14.5%	8.5%
	無回答	1.6%	1.4%	1.4%	0.0%	1.5%	0.8%	1.0%	2.1%

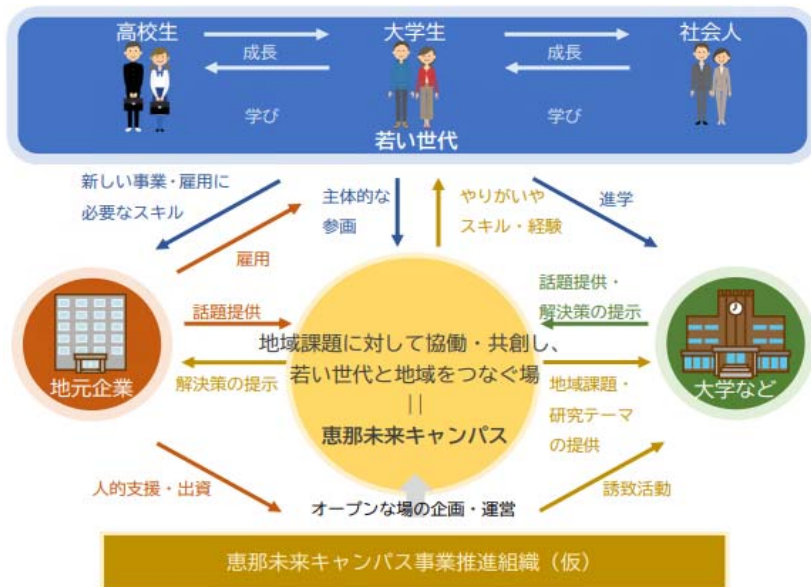
資料：恵那市市民意識調査結果報告書（令和3年度）

若い世代ほど「恵那市に住み続けたい」と考えている割合が低い

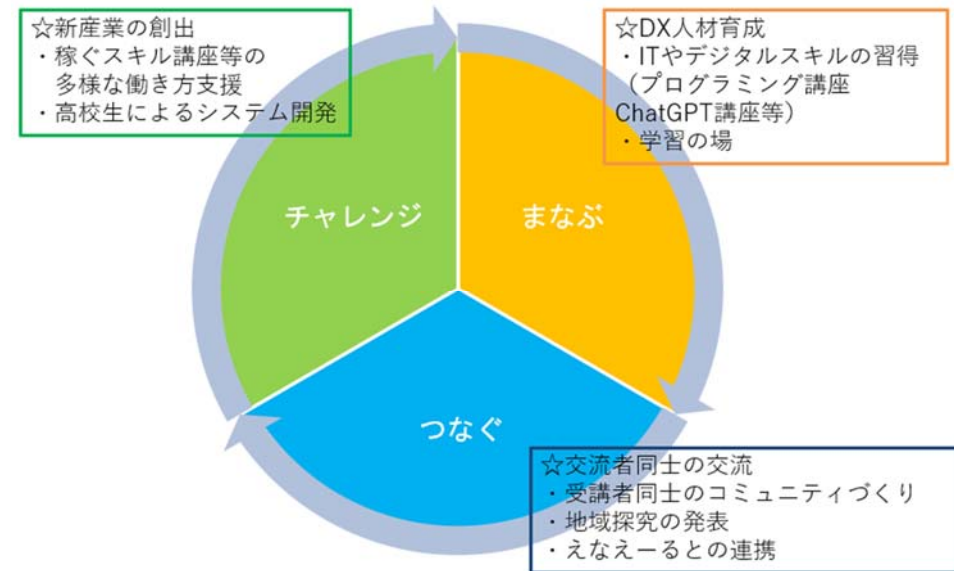


2. 事業の概要

- ・多様な学びの場を新しく創出し、恵那市の将来を担う人材育成を目的に、令和4年3月に『恵那未来キャンパス構想』を策定
- ・当市の課題である若い世代の人口流出の解決に向け、若い世代と地域をつなぎ、やりがいやスキル・経験が得られる「新たな学びの場（恵那未来キャンパス）」を整備
- ・地元企業や高校、大学などと協働・共創より専門的で具体的な地域課題の解決につなげるとともに、地域との結びつきを深め、将来を担う人材を育成し、若い世代の定着につなげる



恵那未来キャンパス構想



新しい学びの場（恵那未来キャンパス）



3. 令和7年度の取り組み

まなぶ

ICTスキルの向上や地元に必要な人材の育成のためプログラミング講座を開催。また、現代のトレンドである生成AI講座も引き続き行ったほか、ITツールを活用したデザイン講座も行った。



ICT講座

プログラミング

自習



ChatGPT講座



デザイン講座



Python講座

つなぐ

市内の高校生が自身の探究活動の成果について発表を行った。発表スキルの習得の他、他校との交流もうまれ成功体験となった。また、社会人向けにはITについて発表を行うLTを開催し、交流を図り認知度の向上にもつながった。



学生の交流・発表の場

社会人の交流の場



LTの様子



プレゼン講座



探究発表会



3. 令和7年度の取り組み

チャレンジ

多様な働き方ができるスキルを習得する講座の開催。またマイクラワークショップを開催しスキルの向上と保護者を含めた認知度の向上にもつなげた。



システム開発

プログラミングワークショップ

稼ぐスキル習得



SNS講座



マイクラワークショップ



Photoshop講座

R7年度の取組みの主な成果

- ・ 講座受講者が仕事の受注に挑戦し、収入につながった。
 - ・ 高校生の探究発表を受けて市担当課がアイデアの実現の可否や実現方法に向けた検討を開始した。
 - ・ 高校生が他校の生徒と交流することが出来た。
 - ・ 講座の成果品の庁舎展示（アイデアの実現）
-
- ・ 利用者数：延べ **2,125人**（4～12月）
※令和5～6年度：延べ5,864人
 - ・ 講座数：**16回**



高校生探究発表会



高校生がデザインしたポスター



4. 主な成果・KPI達成状況

No.	KPI	単位	事業開始前		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
①	市外転出者のうち「職業上」を理由とする者の割合	%	44.20	目標値	43.27	42.34	41.41		
				実績値	38.80	38.70	46.20		
				達成率	100.0%	100.0%	89.6%		
②	20～39歳女性人口に占める20～39歳女性転出者の割合	%	2.63	目標値	2.37	2.11	1.84		
				実績値	11.77	9.36	11.41		
				達成率	20.1%	22.5%	16.1%		
③	大学生がまちづくり活動に携わった回数	回	9	目標値	11	13	15		
				実績値	0	5	10		
				達成率	0.0%	38.5%	66.7%		
④	高校生の市内事業所への就職率	%	20.68	目標値	22.12	23.56	25.00		
				実績値	21.47	20.16	未確定		
				達成率	97.1%	85.6%	未確定		



5. 今後の取り組み

1. 地元・全国の大学生向け ～地元をテーマとした研究を支援し、恵那市らしい研究テーマを磨く場～

- 【目指す姿】
- ・大学生世代が市内でも十分な学びを得られるようにする
 - ・恵那市らしい研究テーマを磨き上げる
 - ・大学と多様な形で連携する

- 【取り組み】
- ・域学連携補助補助金や大学生がリノベをした宿泊施設を活用したフィールドワークの誘致・大学との連携強化（通年）

⇒ KPI ③「大学生がまちづくりに携わった回数」への取り組み



2. 地元・全国の社会人向け ～必要な技術を身に付け、地元に必要な仕事を創出する場～

- 【目指す姿】
- ・企業内の新しい事業や雇用が創出される
 - ・スキルを身に付けた人の全国・世界を相手にした起業が進む
 - ・地域を支える人材が外からも来るようになる
 - ・過去の受講者が新しい受講者を教える好循環を作る

- 【取り組み】
- ・大学生や社会人対象ICT講座等（通年）
 - ・起業や在宅ワークをしやすいスキル習得の場を提供し多様な働き方を支援する講座（通年）

⇒ KPI ①「市外転出者のうち「職業上」を理由とする者の割合」、
KPI ②「20～39歳女性人口に占める20～39歳女性転出者の割合」への取り組み





5. 今後の取り組み

3. 地元の高校生向け ～地元の課題や企業に触れ、自分の価値観や地域の魅力に気づく場～

- 【目指す姿】
- ・ 地元の課題や企業の取り組みを知る
 - ・ 自らの価値観や、やりがいに気づき、地元で働くイメージを持つ
 - ・ 恵那市を離れてもつながる仕組みを作る

【取り組み】

- ・ 高校生地域探求発表（冬季）

- ⇒ KPI ①「市外転出者のうち「職業上」を理由とする者の割合」、
KPI ④「高校生の市内事業所への就職率」への取り組み



4. すべての若い世代向け ～必要な技術を身に付け、地元に必要な仕事を創出する場～

上記のような取り組みを行い大学生、高校生、社会人、企業をつなぐ連携の場として設置し、若い世代の思い出になる施設とする

- 【取り組み】
- ・ 中高生以下対象のIT講座等（通年）
 - ・ 高校生対象プログラミング講座等（夏季休暇）
 - ・ 高校生の地域課題解決システム開発（長期休暇）（予定）
 - ・ 社会人交流会（通年）



恵那未来キャンパス
Ena Mirai Campus



大学と若い世代に選ばれる地域づくり
恵那未来キャンパス認知度アップ 講座の充実・継続 高校・大学との連携

恵那市たべる推進事業

農林部 農政課

令和8年2月27日



目次

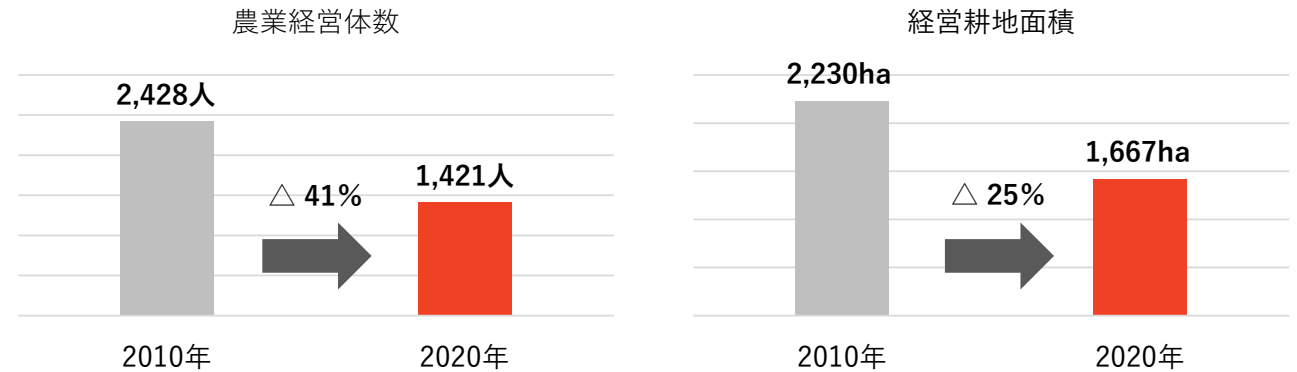
1. 事業の背景
2. 事業の概要
3. 令和7年度の取り組み
4. 主な成果・KPI達成状況
5. 今後の取り組み



1. 事業の背景

1. 農家数、耕作農地の減少

- ・ 農家数、耕地面積は年々減少
- ・ 恵那市の農業が急速に衰退
- ・ 地域に根付いた食文化の喪失
- ・ 飲食店への食材供給の弱体化



出典：農林業センサス

2. 恵那市たべる推進事業

- ・ 生産と消費が連携した、地産地消による地域経済の活性化
- ・ 新たな消費に繋がる食の魅力強化として、発酵食文化の推進



たべとるマルシェ（毎月第3土曜日）



全国発酵食品サミットinえな（2023年）

2. 事業の概要



1. 恵那ふうど認証制度

市内の食産業をつなぎ、地消地産を推進するため、市内産農畜産物や食文化など恵那市の風土を活用した商品開発やサービス提供を推進する「恵那ふうど」に取り組む。

2. 発酵のまちづくり推進

醤油、味噌、酒、漬物といった本市の食文化である発酵食品を産業振興や市民の健康意識の向上に取り入れる“発酵のまちづくり”を推進する。

3. 地域商社ジバスクラム恵那

- ・地域で生産される農産物の販売出口としての役割を担う。
- ・市内外での新たな販路の開拓、「AeruSHOP ONLINE」（自社ECサイト）における商品取扱高の拡充を進める。
- ・地域商社が本市の食の拠点として、市内事業者の地元産野菜のニーズを把握し、農家での生産へとつなげる。



恵那ふうど認証 認定式



AeruSHOP



3. 令和7年度の取り組み

1. 恵那ふうど認証制度

- ① 恵那ブランド認定、経済団体等と連携し、WEBサイトにより認証制度の普及啓発を実施した。

認証事業者数：21事業者 ⇒ 36事業者 (+15事業者)

- ② 認証店にニーズ調査を実施し、食材を提供可能な農家や協議会とのマッチングを実施した。

新規取扱：2件 (ナス⇒漬物、イチゴ⇒菓子)

- ③ 恵那ふうど認証事業者の優れた商品やサービスを認定する恵那ブランド認定を実施した。

認定商品数：11品種 ⇒ 27品種 (+16品種)



恵那ブランド認定商品

2. 発酵のまちづくり推進

- ① 発酵食文化推進機構等と連携し、オンラインで「発酵の学校」を開催した。

発酵食品ソムリエ取得者数 (全体) : 133人 ⇒ 186人 (+53人)

発酵食品ソムリエ取得者数 (うち市民) : 88人 ⇒ 119人 (+31人)

- ② 発酵食品ソムリエが講師となり小学校での味噌づくり教室を実施した。

味噌づくり教室実施校：長島小、恵那北小、武並小、飯地小、岩邑小、山岡小 (6校)



味噌づくり教室 (飯地小)



3. 令和7年度の取り組み

3. 地域商社ジバスクラム恵那

地域商社の店舗、恵那峡サービスエリア、ECサイトで恵那市特産品、旅行商品を市内外に販売した。

地域商社ジバスクラムの売上高：**142,265千円**（目標値：98,000千円）



AeroSHOP



恵那峡SA



AeroSTAYのサイト



4. 主な成果・KPI達成状況

No.	KPI	単位	事業開始前		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
①	市内飲食店が使用する食材の地元産調達率	%	29.80	目標値	33.20	36.60	40.00		
				実績値	26.10	27.20	未確定		
				達成率	78.6%	74.3%	未確定		
②	恵那ふうど認証取得事業者数	事業者	0	目標値	10	20	30		
				実績値	18	21	36		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
③	地域商社ジバスクラム恵那の売上高	千円	11,837	目標値	86,000	92,000	98,000		
				実績値	64,946	97,494	142,265		
				達成率	75.5%	100.0%	100.0%		
④	認定農業者数	人 事業者	74	目標値	75	76	77		
				実績値	77	72	70		
				達成率	100.0%	94.7%	90.9%		



5. 今後の取り組み（地方創生交付金事業は令和7年度で完了）

1. 恵那ふうど認証制度

- ・ 認証事業者をさらに増やし、市内産農作物の販路を拡大するとともに生産量を増加させることで、農家数、経営耕地面積の減少に歯止めをかける。
- ・ 認証制度の認知度向上、認証事業者の店舗利用者数を増加させるため、デジタルスタンプラリーで周遊する取組を実施する。（恵那ふうどポイント事業）

2. 発酵のまちづくり推進

- ・ 「発酵の学校」引き続き開催し、発酵食品ソムリエを増やす。
- ・ 発酵食品ソムリエが発酵食文化の啓発・推進リーダーとなり、発酵食品の素晴らしさを伝える活動と小学校での味噌づくり教室を実施する。

3. 地域商社ジバスクラム恵那

- ・ 域内事業者のマッチングやアエルショップを活用した地場産品のPR・販売支援の強化
- ・ 恵那産野菜の域内販売マッチングの強化と販売促進を進める。
- ・ 発酵拠点の機能充実を図り、市内事業者とも連携した発酵商品の開発と流通を拡大させる。



「発酵の学校」修了式



恵那市産の野菜

地歌舞伎小屋機能向上事業

教育委員会 文化課

令和8年2月27日



目次

1. 事業の背景
2. 事業の概要
3. 令和7年度の取り組み
4. 主な成果・KPI達成状況
5. 今後の取り組み



1. 事業の背景

【課題】地歌舞伎の次世代への継承

- ・市内で地歌舞伎に関わる担い手の年代別構成は65才以上の高齢者が半数以上を占め、一方で30代以下の若年層は6%であり、次世代への継承が進んでいない課題がある。
- ⇒次世代の育成のために、老若男女に関わらず地歌舞伎に参加できる仕組みづくりを進めるとともに、老朽化した宮盛座（佐々良木公民館）の利便性を向上させ、地歌舞伎を体験する場を増やすことにより、多くの担い手が集まり、活動しやすい環境を創出する。

【新たな動き】三郷歌舞伎保存会の再始動

- ・三郷歌舞伎保存会は10年以上のブランクを経て、令和7年3月に宮盛座で公演を開催した。
- ・同保存会には中学生2人が入っており、伝統を伝え、地域が活性化する機運が高まっている。



各歌舞伎保存会の年代別会員数

保存会	19才以下	20代	30代	40～64才	65才以上	計
恵那				5	13	18
東野				12	18	30
三郷	2			6	5	13
飯地				10	5	15
山岡			2	4	4	10
明智			3	2	3	8
串原				3	10	13
上矢作				4	3	7
合計	2	0	5	46	61	114
割合	1.8%	0%	4.4%	40.3%	53.5%	100%

令和6年度各歌舞伎保存会の年代別会員数（文化課調べ）



2. 事業の概要

1. ハード事業

■ 宮盛座（佐々良木公民館）の改修

- ・外壁改修、窓のサッシ化
- ・舞台照明改修
- ・浄化槽の設置

※将来的な登録有形文化財への登録を担保した改修を実施

2. ソフト事業

■ 地歌舞伎をはじめとする伝統芸能の発信

- ・地歌舞伎、獅子芝居等の伝統芸能公演の開催
- ・伝統芸能にとどまらない多様なイベントの開催
- ・宮盛座でのイベントの様子を動画等で発信

■ 歌舞役者による子どもへの指導

- ・中村いてう氏による小学生に向けた歌舞伎授業の開催



三代目 中村いてう



宮盛座（佐々良木公民館）改修前



宮盛座（佐々良木公民館）改修後



3. 令和7年度の取り組み

1. 宮盛座（佐々良木公民館）の改修

- ・ 工事期間：令和7年10月～令和8年3月
- ・ 佐々良木区、三郷歌舞伎保存会等と協議して進行中
- ・ 進捗率：78%（令和8年1月末現在）

2. 地歌舞伎保存会会員募集のチラシ作成

- ・ 令和7年4月に3,000部を作成し、保存会に配布
- ・ 地域の地歌舞伎イベントの際にも配布



会員募集のチラシ



若者プロジェクトでのワークショップ

3. 伝統芸能若者プロジェクト

- ・ 「伝統芸能の未来を私たちの手でつなごう！」をキャッチフレーズに令和7年8月に2回開催
- ・ 高校生を中心とした市内の若者15人が伝統芸能団体の関係者と魅力を語り合い、自らができることを考えるきっかけとした

4. 中村いてう氏による小学生に向けた歌舞伎授業

- ・ 令和7年9月に三郷小学校歌舞伎クラブ9人への練習指導を実施
- ・ 令和7年11月の三郷町文化祭での「白浪五人男」の発表に活かした



三郷小学校歌舞伎クラブでの指導



4. 主な成果・KPI達成状況

No.	KPI	単位	事業開始前		R7年度	R8年度	R9年度	R8年度	R9年度	R10年度
					1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目
①	市内歌舞伎保存会の会員数	人	114	目標値	130	146	162	178	194	210
				実績値	130					
				達成率	100.0%					
②	地歌舞伎小屋（宮盛座）の年間利用人数	人	295	目標値	400	900	1,400	1,550	1,700	1,800
				実績値	100					
				達成率	25.0%					
③	地域の文化や風習を生活の中で感じている市民の割合	%	63.80	目標値	65.80	69.00	72.50	75.50	78.50	81.00
				実績値	72.90					
				達成率	100.0%					



5. 今後の取り組み

1. 宮盛座改修記念イベント ポーランドジャズIN宮盛座（令和8年5月）

- ・ 昨年の五毛座での公演に引き続き、ポーランドジャズカルテットによる公演を宮盛座で行う

2. 宮盛座改修記念式典（令和8年6月）

- ・ 佐々良木区主催によりテープカット等のセレモニー
- ・ 中村いてう氏による三番叟の公演
- ・ 三郷歌舞伎保存会による地歌舞伎公演

3. 中村いてう氏による小学生に向けた歌舞伎授業（令和8年6月）

- ・ 宮盛座で三郷小学校全児童を対象にワークショップ形式で歌舞伎の楽しさを体験する機会を創出

4. 筑前琵琶演奏会（令和8年10月）

- ・ 中山道ひし屋資料館などで開催してきた田中旭泉氏の演奏会を宮盛座で行う

5. 岐阜県獅子芝居公演（令和8年11月）

- ・ 昨年の山岡環境改善センターに引き続き、宮盛座で岩村町獅子舞保存会、白山比咩神社獅子舞保存会、横道獅子舞保存会の出演により公演を行う



昨年のジャズ公演



昨年の筑前琵琶演奏会



昨年の獅子芝居公演